

## B級指導者養成講習会 レポート

報告者：鶴見 智美（清水エスパルス）

### ◆期間・場所◆ 第11コース（JFAコース）

前期：2017年12月10日(日) - 2017年12月15日(金) 御殿場時之栖 Brush Up(5泊6日)

後期：2017年12月20日(水) - 2017年12月25日(月) 御殿場時之栖 Brush Up(5泊6日)

※実践場所 時之栖Aグラウンド、時之栖裾野グラウンド、時之栖うさぎ島グラウンド

### ◆JFAインストラクター◆

大橋 浩司 氏（チーフ）、内田 篤 氏、有馬 賢二 氏（前期のみ）、西川 誠太 氏（後期のみ）

※前田 信弘 氏（GKインストラクター）

### ◆内容◆

<講義> GK、コミュニケーションスキル、コーチング法(プランニング)、プレーの原則、プレーの分析  
コーチング法(コーチング)、技術・戦術的課題、コーチの役割、フィジカル、審判、セットプレー  
指導実践ガイダンス・フィードバック

<実技> GK、ポジション、守備①、前線の崩し、フィニッシュ、守備②、ビルドアップ  
フィジカル、クロスの攻撃、クロスの守備、ゲーム

<試験> 指導実践、口頭試験、筆記試験

#### 【コーチの役割】

基準の提示（On the Pitch. Off the Pitch. 選手達に良い習慣を身に付けさせること）

※Good Standard※ あこがれ・尊敬・目標

#### 【コーチの仕事】

『ゲーム→ゲーム分析→プランニング→トレーニング・コーチング→ゲーム・・・』 このサイクルを回す

Guided Discovery 解決法ではなく、発見を導き出す・引き出す 6W1H(コミュニケーションスキル)

Try & Error 失敗⇔成功、Clarity⇔Reality のバランス

Quick Simple to the Point プレーの解説はいらない

#### 【分析】

自チームの個の分析 個人戦術 攻撃・守備(ON/OFF)

#### 【コーチの資質】

オープンマインド、情熱、誠実さ、忍耐、論理的・分析的思考、コミュニケーション能力

選手の学習過程に関する知識、効果的指導の知識、選手の自信ややる気を高める能力

保護者との連携ができる、学び続けることができる

### ◆所感◆

前期・間の学習・後期を通し、多くの指導者との出会いがあり、実技・指導実践で選手目線からトレーニングを体感し、また普段の指導現場で味わうことが出来ない多くの助言をいただくことが出来た。まさしくこれこそ今回の講習会の目的でもあり、指導者として資質を高める本当に貴重な時間となった。インストラクターの大橋さんによるTSGでのWorldCupU-17大会分析や、内山さんによるWorldCupU-20大会の監督としての生の声も聞くことができ、指導現場に「どのように」活かしていけるか考えさせられた。

『指導者しか選手を変えることが出来ない』この言葉が一番印象に残っており、サッカーにおける基準が我々指導者にあることと同時に、JFAが掲げている『JFA2005宣言』での2050年の約束に向けた取り組みを自分自身も一端を担っていることを改めて痛感した。「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。」というJFAの理念そのものを常に意識しながら、サッカーの価値を高め、サッカー・スポーツが社会を変え、文化になるよう精進したい。